



山の手桜



山の手桜

桜の便りが聞こえる時期になりました。焼津市でも朝比奈川左岸の堤2kmに渡り、200本の河津桜が満開を迎えています。

この桜を20年に渡り植え育ててきた「山の手未来の会」の皆さんによって、2月26日、晴天の穏やかな日差しの中で、桜まつりが開催されました。

女性の会の皆さん手作りのお赤飯やお菓子などは早々に品薄になる売れ行きで、樽酒や甘酒も振舞われ、賑やかな開会です。



山の手桜



山の手桜

「山の手未来の会」は、平成8年「花と香りのある郷づくり」をテーマに地区の自治会役員OBが発起人となり、蠟梅(ロウバイ)の種から苗木を作って各家庭に配布することから活動を開始しました。

河津桜の苗はその頃今のように買うことができず、河津にご縁のある会員さんのついでで分けていただいた枝を山桜に接ぎ木し、皆さんで育ててこられました。

また、以前会長をされた方のお知り合いが福井出身というご縁で、毎年2000球の越前水仙の球根を送っていただき、桜と菜の花と水仙を楽しめる堤を目指しているということです。そして水仙のお返しには、この時期に咲いた河津桜と菜の花を送り、福井県庁に飾っていただくという素敵な交流が続いているそうです。



[山の手桜](#)

(左) 現会長 山田さん



[山の手桜](#)

(右) 初代会長 永田さん

年を追うごとに訪れる人が増え、今年は3万人ほどが訪れるのではと見込んでいます。県外からの観光客も増えてきたので、今年は市に観光バスの駐車場を用意して貰うという働きかけもしました。



[山の手桜](#)

会場では蠟梅の種から発芽させた苗を1本百円で販売



[山の手桜](#)

この桜や水仙などの管理だけでなく、1月には「ふるさと探訪・蠟梅の香りをきく会」を、11月には方ノ上城址の狼煙跡に「古代光の通信の再現」として紅白の狼煙を上げたり、年間を通して高草山ハイキングコースの整備などを行い、盛んに活動していますが、やはり会員の高齢化が課題とのことでした。



[山の手桜](#)

(左) 堤には山の手桜を描いた水彩画も展示されています。



[山の手桜](#)

近隣市の方からの音楽ライブや絵画展示の申し出も積極的に受け入れ、にぎわいを創出する事で焼津市の誘客にも貢献している皆さんの活動は、これからもますます期待されることでしょう。

会員の方々が一生懸命愛情を注ぎ、皆さんの目を楽しませてくれる美しい景色が育っています。駐車場に設けられた協力金にも、是非皆様のご協力をお願い致します。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江